

教学マネジメントとは

大学がその教育目的を達成するために行う管理運営。また、その確立に当たっては、学長のリーダーシップの下で、三つの方針(卒業認定・学位授与の方針, 教育課程編成・実施の方針, 入学者受入れの方針)に基づく体系的で組織的な教育の展開, その成果の点検・評価を行い, 教育及び学修の質の向上に向けた不断の改善に取り組むことが必要。

教学マネジメント指針とは

- 教学マネジメントの確立のため, 各大学の教学面での改善・改革を促すため, その取組に際しての留意点等を網羅的にまとめたもの。(但し, 特定の取組を強制するものではない。)
- 各大学の内部質保証のPDCAサイクルを推進し, 大学が自ら策定した三つの方針に基づく教育取組を実効性あるものとするために必要な手法等について示すものであり, 各大学においては, 当該指針を参照しつつ, それぞれの責任の下, 強みや特色も意識し, 学修者本位の教育の質向上につながる具体的な方針を策定することが重要。

出典)2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申) 用語解説

以下のような教学マネジメントを, 適切な体制の下, 全ての学位プログラムにおいて横断的に確立 ← 「大学全体」レベル

教学マネジメント

三つの方針

「自らの教育理念の実現に向け, どのような学生を受け入れ, 求める能力をどのようなプログラムを通じて育成するか」

教学マネジメントの確立に当たって最も重要なものであり, 学修者本位の教育の質の向上を図るための出発点

学修目標の具体化

「卒業認定・学位授与の方針」(以下「DP」)において,

- ✓ 学修者と社会のニーズに応える, 学位プログラムとしてふさわしい明確な目標設定
- ✓ 学生の学修目標として機能し, かつ大学が客観的に評価できる記述で規定

カリキュラムマップを活用

DPとシラバス(到達目標)の連結

授業科目・教育課程

- ✓ DPに対して必要十分な授業科目を開設し, 体系的に教育課程を編成
- ✓ DPとの関係が明らかでない科目は見直しや取りやめの場合により検討
- ✓ 細分化された授業科目の統合, 同時に履修する科目数の絞り込み

DPを効果的に実現する観点から, 目的を踏まえて適切に実施

- 学生の理解促進 → カリキュラムツリー, シラバス
- 体系的明確化 → カリキュラムツリー, オナバリング
- 学修の密度向上 → キャップ制, 学事暦の柔軟化

こうした体系的な教育課程のもと,

成績評価

大学教育の質保証の根幹, 学修成果の可視化の前提

- ✓ 達成水準とその測定手法の明確化
- ✓ 学外の信頼性および国際通用性の確保

最も重要な成績評価の情報に加え,

ルーブリックの活用, GPAの信頼性確保

学修成果の把握・可視化

学位プログラムとしての学修成果

- ✓ 複数の情報により多角的に把握
- ✓ 対外的にわかりやすく表示

アセスメントテスト, パフォーマンス評価, 「ディプロマ・サプリメント」

積極的な説明責任

情報公表

- ✓ 大学の序列化につながらないよう, 様々な情報を組み合わせることが必要
- ✓ 意義や活用の在り方, 定義や数値の算出方法, わかりやすい公表方法等を指針で提示

社会からの信頼と支援

FD・SD 教学IR

- ✓ 教学マネジメントを支える基盤
- ✓ FD・SDの実質化, 教学IRへの理解促進
- ✓ 経営層への研鑽